

交渉結果報告書

市長公室 人事課

交渉内容 2014 夏季重点要求書の提出について
交渉日時 平成26年5月22日(木) 15時30分～17時00分
交渉場所 501会議室
交渉出席者 当局側 土屋副市長 宇野市長公室長 星川次長 秋元課長 岡部主幹
波戸瀬主幹兼人事研修係長 雲丹亀給与係長
組合側 小野執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計9人

概要	2014 夏季重点要求書の提出に関する交渉を行った
組合の主張	<p>原油の高騰によりガソリン代が上がっている状況の中で、通勤手当額の根拠となる単価設定を検討すべき状況に来ていると考える。</p> <p>深夜にとどまらず朝6時まで勤務しなければいけなかった所属があったが、どんな状況だったのか、その背景となったのは何か。所属長はどう考えているのか。</p> <p>時間外勤務は遅くとも22:00までに終わるという認識が、職場や所属長に徹底されているか。当然どうしてもやらなければいけない業務もあるが、労安上の問題もある。所属長は、時間外勤務命令を出す上で、責任を持たなければいけない立場にある。</p> <p>臨時給付金(地域福祉課・こども福祉課)については今後どのようにすすめていくのか。</p> <p>臨時給付金については、当該の次長は、予定している以上の負担が職員にかかっていることの認識と、業務の進捗状況をきちんと把握するようにしてもらいたい。また、人事当局も把握してもらいたい。</p> <p>平成27年10月よりマイナンバー制度のナンバーを通知すると聞いているが、進捗状況等現状はどうか。税の業務も付随すると聞いているので、市民税課の時間外勤務が懸念される。</p>
当局の主張	<p>ガソリン価格が設定当時よりも上がっていることは確かである。</p> <p>人事課から次長・課長に十分なヒアリングを行った。前週に日曜勤務もあり、所属長としては、一定業務はうまく進んでいるという認識であった。しかし、係長・係員との意思疎通が十分に図れておらず、結果としてこういった事態を招いた。管理職員には労務管理の徹底をしているところである。</p> <p>認識は持っていると考えているが、再度徹底したい。</p> <p>両課と十分連携を取りながら必要な措置をしていきたい。現在の業務で中心となるのは、それぞれの課を担当するそれぞれの次長である。</p> <p>-</p> <p>行政経営課が市全体の調整・進行管理を担っている。今後、各課においてマ</p>

	<p>イナンバーをどう利用するかを検討してもらうことになる。そうした結果を踏まえて業務量などを見極めたい。</p>
--	---